

レポート作成に役立つデータベース

レポート作成の10のステップ



レポートには、

- ・読んだり調べたりした内容を決まった様式で報告するもの
- ・与えられた課題から自分なりのテーマを決めて問いを設定し、主張を組み立てて論証するもの

などがありますが、いずれも感想文や作文のように表現力豊かに自分の思いを書くものではありません。

先生から与えられたレポート課題を前にして、どう取り組みれば良いのかよく分からないときは、左の図の10のステップを参考に作成してみましょう(詳しくは『レポート・論文を書こう！:誰にでも書ける10のステップ(情報の達人第3巻)』という図書館にあるDVDをご覧ください。)

このうち1・2・4のステップでは、課題の概要把握や事前調査(概念や用語調査)、文献調査(図書や論文、新聞記事、統計情報などの調査)にデータベースが大変役立ちます。

ここで紹介するデータベースを活用してステップに弾みをつけて、しっかりしたレポートを作成しましょう。

テーマの選択・事前調査

ジャパンナレッジ Lib

【学内のみ(1アクセス)】

『日本大百科全書』や『日本国語大辞典』、『イミダス』、『現代用語の基礎知識』など各種の事典・辞書を横断的に検索できるデータベースです。レポート課題に対する理解が漠然としているときなど、概要を把握したり、考えを整理したりするのに役立ちます。関連用語や参考文献などを基に事前調査を進めることもできます。

新書マップ

<http://shinshomap.info/search.php>

16,000冊以上のノンフィクション・教養系の新書・選書を、1,000の現代的なテーマから検索できるデータベースです。キーワードや文章などの漠然とした条件からでも関連テーマを探し出すことができます。新書には情報がコンパクトにまとめられているのでレポート課題の概要把握に役立ちます。

静岡新聞データベース plus 日経テレコン

【学内のみ(2アクセス)】

静岡新聞と日経各紙の記事を検索することができます。新聞には日々の事件や出来事を伝える記事のほかにも解説・分析・検証記事やルポルタージュなど様々な情報があります。時系列に基づく理解や百科事典や新書・入門書などと同様に概要を把握するのに役に立ちます。



関連文献の調査

県立中央図書館

県大草薙キャンパスに隣接する静岡県立中央図書館の蔵書を検索することができます。市や町の図書館に比べて、専門的な図書や雑誌も所蔵しています。

おうだんくんサーチ

静岡県内の公共図書館や大学図書館・その他機関の所蔵する図書・雑誌を横断検索することができます。

CiNii Books

大学図書館の所蔵する図書・雑誌を検索することができるほか、オープンアクセスの雑誌には詳細画面にタイトルページへのリンクボタンが表示されるものがあります。

NDL Search(国立国会図書館サーチ)

国立国会図書館や都道府県立図書館などの蔵書のほか、論文情報やデジタル資料など 8,000 万件以上の文献情報等を検索することができます。

CiNii Articles

国内の幅広い分野の記事・論文を検索することができます。論文情報の中には、論文本文へのリンクボタンがあるものや、引用情報が参照できるものもあります。

Google Scholar

学術情報に特化した検索エンジンで、学会や大学、学術出版社などの学術専門誌、論文、書籍、要約、記事を検索することができます。

IRDB

日本国内の学術機関リポジトリに登録されたコンテンツのメタデータを収集し、提供するデータベース・サービスです。

基礎となる情報

政府統計の総合窓口e-Stat <https://www.e-stat.go.jp/>

総務省統計局が中心となり提供する、政府統計のポータルサイトです。日本の政府統計を網羅的に探すことができます。統計情報はレポートにおいて主張の根拠や証拠などとして使うことができます。

孫引きはしないで
一次資料を使おう

白書(首相官邸ホームページ) <http://www.kantei.go.jp/jp//hakusyo/>

白書とは、政府が政治・経済・外交などの実情や施策を国民に知らせるために公表する報告書です。様々な分野の現状や対策、展望がデータやグラフを交えて説明されており、レポートの基礎資料などに使うことができます。



e-GOV 電子政府の総合窓口 <https://www.e-gov.go.jp/>

総務省行政管理局が運営する総合的な行政情報のポータルサイトです。法令や条約データなどの検索、白書や年次報告書など各省庁が出している統計調査などの閲覧ができます。レポートの基礎資料として使うことができます。

